

青森ユニノウ株式会社 レイズ

- 2つの就労継続支援B型事業所を運営。事業所ではにんにくの皮むき、ごぼうの洗浄・カットといった農産物加工や、ミニトマトの定植、ごぼうの選別といった農作業をメインに、施設内・施設外就労を行っている。
- 農業と福祉がにつながるポータルサイト「あおもり農福連携プロジェクト」を運営。

基本情報

所在地 東北町

取組
パターン 作業受委託型

施設 Arch Plus (就労継続支援B型)
概要 CROSS (就労継続支援B型)

主力 きくらげ栽培・販売
商品 受託作業
(農作業・清掃業・製造業)

あおもり農福連携ポータルサイト外運営
<https://www.noufuku-aomori.jp/>

連絡先

TEL : 0176-58-0814
FAX : 0176-58-0815
<https://www.rayz-aomori.co.jp/>



きっかけ

- 2015年10月法人設立以降、農業をはじめ、様々な業界から人手不足に悩む声を聞くことが多くなり、こういった課題に障害福祉サービス事業所としてどう応えていけるのか考える中で、農福連携に取り組むようになった。
- 2024年10月「働きたいと思う障害のある方・お仕事を手伝ってほしい農家や地域の企業・地方自治体など福祉サービスに関わる方」を結び、担い手不足・高齢化を解決するための取組みとして「あおもり農福連携プロジェクト」の運営を開始。

取組内容

- 請負の施設外就労として、ミニトマトの定植、摘葉、ごぼうの選別等を行っているほか、施設内ではにんにくの皮むきや根すりなどの農産物加工やパックへのシール貼り等を行っている。
- 農福連携拡大により、作業の幅も広がり利用者数も増加。農作業請負件数も増加し、農業収入も着実に増加し、平均工賃も向上している。
- 「あおもり農福連携プロジェクト」の運営を行いながら、地域の農家等と福祉事業所のマッチングを行うコーディネーター業務も行っている。

今後の方向

- 農福連携をきっかけに地域の福祉施設との協働化を目指し、相互に工賃向上、課題解決を目指していきたい。

